

新しい生活様式における適切な健診実施と受診に向けた研究
分担研究報告書

被扶養者を対象とした健診受診に関する意識調査

研究分担者 高谷 典秀 医療法人社団同友会 予防医学研究所 所長
研究分担者 須賀 万智 東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座 教授
研究協力者 関塚 光宏 富士通株式会社 健康推進本部 富士通クリニック
研究協力者 東 泰弘 富士通株式会社健康推進本部 統括本部長
研究分担者 福田 洋 順天堂大学先端予防医学・健康情報学講座 特任教授
研究分担者 武藤 繁貴 聖隷福祉事業団聖隷健康診断センター・医務部・所長
研究分担者 鈴木 桂子 大東文化大学スポーツ・健康科学部看護学科 助教

研究要旨：

【目的】オンライン／ハイブリッド健診が、従来の健診を受けづらいと感じている人たちの代替的選択肢になるかを検討するため、健保組合の被扶養者を対象として健診受診に関する意識調査を実施した。

【方法】アンケート調査は富士通健康保険組合の協力のもと、2023年12月8～22日にインターネット上で実施した。期間中に2,069名（28.0%）から回答を得られ、このうち入力不正を除いた2,062名を分析した。

【結果】健診年1回受診している者が1887名（91.7%）と大多数を占めた。健診年1回受診しない者の特徴として、年齢34歳以下3.64（1.88-7.08）、35-44歳1.77（1.09-2.90）、45-54歳1.79（1.21-2.64）（対55-64歳）、就労していない1.70（1.23-2.35）が示された（数字はオッズ比と95%信頼区間を示す）。健診年1回受診している者では、従来どおりの健診方法を希望する者が大多数（77.0%）であったが、健診年1回受診していない者では、オンライン／ハイブリッド健診を希望する者がそれぞれ2～3割（22.9%/32.6%）みられた。

【結論】健診年1回受診していない者では、オンライン／ハイブリッド健診を希望する者が相対的に多くみられ、このような健診方法を選択できるようにすることで健診受診率を高めうる可能性が示唆された。

A. 研究目的

新型コロナウイルス感染症の流行にともない、健診受診を敬遠する者が増えていることが指摘された。そこで、健診機関などで対面で行う従来のやり方に代わる方法として、電話やビデオ通話システムなどを活用したオンライン健診（リモートのみで行う）やハイブリッド健診（健診機関で行う項目とリモートで行う項目を組み合わせる）の可能性が検討されている。

本研究班の昨年度の検討から、オンライン／ハイブリッド健診は実施可能な検査項目に制約があり、また、検査精度が十分担保されているとは言いきれないため、現時点では従来の健診を補完するものではないと考えられた。しかし、健診機関に行かずに受診できるという利便性は特筆すべきであり、さまざまな事情で従来の健診を受けづらいと感じている人たちにとっては、代替的選択肢になる可能性がある。特に育児や介護で時間を取れなかったり自宅を離れにくい主婦層が

有効な対象として挙げられた。

本研究では、富士通健康保険組合に協力を仰ぎ、同健保組合の被扶養者を対象として健診受診に関する意識調査を実施した。

B. 研究方法

アンケート調査は富士通健康保険組合の協力のもと、2023年12月8～22日にインターネット上で実施した。調査対象は富士通健康保険組合の被扶養者7,392名である。同健保組合が運用するスマートフォンアプリLINEを通じて全登録者に調査協力呼びかけ、期間中に2,069名（28.0%）から回答を得られた。このうち、基本属性に不正値を入力した者を除き、2,062名を分析した。

調査項目は全10問からなり、基本属性（年齢、職業、同居人数、子供）、健康意識、主観的健康感、治療状況（病院受診の有無、受診しない理由）、健診受診状況（健診受診の有無、受診しない理由）、健診方法の選好、体重計・血圧計の保有状況を尋ねた（詳細は参考資料を参照のこと）。

統計解析は SAS9.4 を使用した。割合の比較は χ^2 検定、健診年 1 回受診しない者の特徴の分析は多重ロジスティック回帰分析（ステップワイズ法）を行い、有意水準は 5% とした。

(倫理面への配慮)

本研究は医療法人社団同友会の倫理委員会の審査承認を受けて行われた。

C. 研究結果

表 1 に回答者の基本属性を示した。就労している者、18 歳未満の子供がいる者、通院している者がそれぞれ約半数を占めた。全体として、健康に関心を持ち、健康増進に取り組み、主観的健康感が保たれている者が多かったが、これらの割合は年齢が若い者ほど低くなる傾向にあった。

表 2 に健診年 1 回の受診者の割合を示した。健診年 1 回受診している者が 1887 名 (91.7%) と大多数を占めた。属性別に比較すると、年齢が若い (特に 34 歳以下)、就労していない、18 歳未満の子供がいる、健康への関心が低い者で割合が有意に低かった。多重ロジスティック回帰モデル (ステップワイズ法) を用いて健診年 1 回受診しない者の特徴を調べた結果、有意に 1 より高いオッズ比 (95%信頼区間) は年齢 34 歳以下 3.64 (1.88-7.08)、35-44 歳 1.77 (1.09-2.90)、45-54 歳 1.79 (1.21-2.64) (対 55-64 歳)、就労していない 1.70 (1.23-2.35)、有意に 1 より低いオッズ比 (95%信頼区間) は健康への関心が高い 0.52 (0.37-0.72) (対中間)、主観的健康感が高い 0.67 (0.47-0.94) (対中間) であり、子供の有無と通院の有無は有意な関係を認めなかった。

表 3 に健診年 1 回受診しない理由を示した。最も多い理由は受診の負担 (選択肢 1、2、3、4) で、過半数を占めた。次いで不要 (選択肢 9、11、12)、不安・抵抗 (選択肢 6、7、10)、情報不足 (選択肢 5、8) であった。

表 4 に健診方法の選好者の割合を示した。健診機関などで対面で行う従来のやり方が良いと答えた者が約 8 割、ハイブリッド健診が良いと答えた者が約 3 割、オンライン健診が良いと答えた者が約 1 割であった。ただ、健診年 1 回受診しない者に限ると、対面健診を選好する割合が有意に低い ($p < 0.001$) 一方、オンライン健診を選好する割合が有意に高い ($p < 0.001$) という違いを認めた。健診年 1 回受診しない者の中で受診しない理由別に比較した結果は有意差を認めなかった。

D. 考察

オンライン/ハイブリッド健診が、従来の健診を受けづらいと感じている人たちの代替的選択肢になるかを検討するため、健保組合の被扶養者を対象として健診受診に関する意識調査を実施した。調査対象が大企業の社員の配偶者に限定さ

れていることや、回答率が約 3 割に留まったことから、約 9 割が健診年 1 回受診しており、健康意識が高い者に偏っていた。しかし、そのなかでも、健診年 1 回受診しない者の特徴と受診しない理由を把握できたことは有意義であり、また、健診方法の選好に関するデータを得られたことは今後の健診のあり方を考えるうえで大いに参考になると考えられる。

健診年 1 回受診している者では、大多数が従来どおり健診機関で対面で行うやり方を希望しており、充実した検査内容を志向する傾向がうかがわれた。一方、健診年 1 回受診していない者では、オンライン/ハイブリッド健診を希望する者が相対的に多くみられ、このような健診方法を選択できるようにすることで健診受診率を高めうる可能性が示唆された。

E. 結論

健診年 1 回受診しない者の特徴として、年齢 34 歳以下、非就労者が示された。健診年 1 回受診している者では、従来どおりの健診方法を希望する者が大多数であったが、健診年 1 回受診していない者では、オンライン/ハイブリッド健診を希望する者がそれぞれ 2~3 割みられた。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

表1 回答者の基本属性

		全体	34歳以下	35-44歳	45-54歳	55-64歳	65歳以上
N		2062	72	319	925	641	105
就労	有り	1127	22	152	567	360	26
		54.7%	30.6%	47.6%	61.3%	56.2%	24.8%
子供	有り	877	54	277	507	39	0
		42.5%	75.0%	86.8%	54.8%	6.1%	0.0%
通院中	有り	1081	26	112	465	403	75
		52.4%	36.1%	35.1%	50.3%	62.9%	71.4%
健康への関心	高い	1543	49	246	664	499	85
		74.8%	68.1%	77.1%	71.8%	77.8%	81.0%
	中間	464	18	61	237	129	19
		22.5%	25.0%	19.1%	25.6%	20.1%	18.1%
	低い	55	5	12	24	13	1
		2.7%	6.9%	3.8%	2.6%	2.0%	1.0%
健康への取組	有り	1253	30	169	513	458	83
		60.8%	41.7%	53.0%	55.5%	71.5%	79.0%
	中間	642	24	118	331	149	20
		31.1%	33.3%	37.0%	35.8%	23.2%	19.0%
	無し	167	18	32	81	34	2
		8.1%	25.0%	10.0%	8.8%	5.3%	1.9%
主観的健康感	高い	904	23	135	381	300	65
		43.8%	31.9%	42.3%	41.2%	46.8%	61.9%
	中間	754	29	108	344	241	32
		36.6%	40.3%	33.9%	37.2%	37.6%	30.5%
	低い	404	20	76	200	100	8
		19.6%	27.8%	23.8%	21.6%	15.6%	7.6%

表2 健診年1回受診する者の割合

		N	年1回受診		p
年齢	34歳以下	72	57	79.2%	<0.001
	35-44歳	319	288	90.3%	
	45-54歳	925	837	90.5%	
	55-64歳	641	604	94.2%	
	65歳以上	105	101	96.2%	
就労	有り	1127	1052	93.3%	0.001
	無し	935	835	89.3%	
子供	有り	877	786	89.6%	0.008
	無し	1185	1101	92.9%	
通院中	有り	1081	1001	92.6%	0.063
	無し	981	886	90.3%	
健康への関心	高い	1543	1438	93.2%	<0.001
	中間	464	405	87.3%	
	低い	55	44	80.0%	
主観的健康感	高い	904	849	93.9%	0.002
	中間	754	672	89.1%	
	低い	404	366	90.6%	

表3 健診年1回受診しない理由

	N	受診負担	情報不足	不安、抵抗	不要
全体	175	105 60.0%	13 7.4%	27 15.4%	30 17.1%
2年に1回	78	53 67.9%	1 1.3%	8 10.3%	16 20.5%
3～5年に1回	53	29 54.7%	4 7.5%	13 24.5%	7 13.2%
ほとんどない	44	23 52.3%	8 18.2%	6 13.6%	7 15.9%

表4 健診方法の選好者の割合
(全回答者)

	N	対面健診	オンライン健診	ハイブリッド健診
全体	2062	1587 77.0%	177 8.6%	569 27.6%
健診年1回 有り	1887	1497 79.3%	137 7.3%	512 27.1%
無し	175	87 49.7%	40 22.9%	57 32.6%

(健診年1回受診しない者のみ)

	N	対面健診	オンライン健診	ハイブリッド健診
非受診理由 受診負担	105	52 49.5%	26 24.8%	37 35.2%
情報不足	13	10 76.9%	3 23.1%	5 38.5%
不安、抵抗	27	12 44.4%	6 22.2%	8 29.6%
不要	30	13 43.3%	5 16.7%	7 23.3%

健康意識に関するアンケート調査

富士通健康保険組合では、「富士通グループ健康宣言」に基づき、生活習慣病対策、がん予防対策、メンタルヘルス対策などの各種施策を通じて、社員と家族の健康保持・増進に取り組んでいます。皆様のニーズにあった、よりよいサービスを提供するため、このたび、厚生労働省からの依頼による調査研究事業(※)に協力し、被扶養者の皆様を対象に「健康意識に関するアンケート調査」を実施することになりました。本調査の趣旨をご理解いただき、是非ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

※令和3年度厚生労働科学研究費補助金「新しい生活様式における適切な健診実施と受診に向けた研究」

(代表研究者:大東文化大学 スポーツ・健康科学部看護学科 杉森 裕樹教授)

(回答時間:5分以内)

注意事項

お答えいただいた内容は本調査の目的にのみ使用します。調査結果を報告書などで発表しますが、集計した結果のみ公表しますので、個別の回答が公になることはありません。

[本調査に関するお問い合わせ先]

【健診コンタクトセンター】

[フリーダイヤル]0120-373-155

[受付時間]月～金曜日 10:00 ～ 18:00(祝日除く)

[メール]blp-fujinkakenshin@dl.jp.fujitsu.com

[調査実施責任者]

富士通健康保険組合 ヘルスケアグループ

[メール]kenpo-healthcare@cs.jp.fujitsu.com

1. あなたのプロフィールを教えてください。

年齢(2023年3月末時点):

1. 19歳以下 2. 20歳~24歳 3. 25歳~29歳 4. 30歳~34歳 5. 35歳~39歳 6. 40歳~44歳
7. 45歳~49歳 8. 50歳~54歳 9. 55歳~59歳 10. 60歳~64歳 11. 65歳~69歳 12. 70歳以上

職業: 1. フルタイム 2. パート・アルバイト 3. 専業主婦・主夫 4. 無職・学生

同居人数: __ __ 人(自分を含む) そのうち18歳未満の子供の数: __ __ 人

[健康意識]

2. あなたの健康に対する考えを教えてください。

	全くそう だ	まあそう だ	どちらとも 言えない	あまりそう でない	全くそうで ない
1) 自分の健康に関心があるほうだ	5	4	3	2	1
2) 健康の維持・向上のために、心がけていることがある	5	4	3	2	1

[主観的健康感]

3. 全体的にみて、最近1ヶ月間のあなたの健康状態はいかがですか。

1. 最高に良い
2. とても良い
3. 良い
4. 普通
5. あまり良くない
6. 良くない
7. とても良くない

[治療状況]

4. あなたは、現在、病院に定期的に通院していますか。

1. 定期的に通院し、処方された薬を服用している
2. 定期的に通院しているが、薬は処方されていない
3. 通院していない

5. あなたは、現在、治療せずに放置している(または自己判断で治療を中断している)病気がありますか。

1. はい
2. いいえ

6. (前問で「はい」と答えた方のみ)

あなたが治療を受けない理由として、最も近いものを1つ選んでください。

1. 時間が取れない
2. 費用が掛かる
3. 場所が遠い
4. 面倒くさい
5. どこに受診すればよいかわからない
6. 自分が良いと思える主治医が見つからない
7. 受診先で新型コロナに感染しないか心配だ
8. 薬を飲むことに抵抗がある
9. 薬の副作用が心配だ
10. 薬を長く飲み続けることに不安がある
11. 治療しても、良くなると思えない
12. 治療しなくても、自然に良くなると思う
13. 誰かに頼らず、自分のちからで治したい

[健診受診]

7. あなたは、昨年度(2021年4月1日～2022年3月31日)に、健康診断を受けましたか。

1. 例年どおり受けた
2. 新型コロナ流行で健診受診を控えた(受けなかった)
3. 受けるつもりでいたが、何らかの理由で受けられなかった
4. もともと受けるつもりがなかった(受けなかった)

「健康診断」とするもの	「健康診断」としないもの
<ul style="list-style-type: none"> • 生活習慣病健診 • 富士通健保の契約健診機関や巡回健診会場で受診するもの • かかりつけ医等で健診費用を立て替えて受診するもの • 特定健康審査受診券を利用して受診するもの 	<ul style="list-style-type: none"> • がん検診 • 市区町村が実施するがん検診、歯科検診、妊産婦健診 • かかりつけ先の病院等で診療の一環として実施される検査

8. あなたは、新型コロナが流行する2019年以前に、健康診断を受けていましたか。

1. 毎年1回受けていた
2. 2年に1回受けていた
3. 3～5年に1回受けていた
4. ほとんど受けていなかった

9. (前問で「2年に1回受けていた」「3～5年に1回受けていた」「ほとんど受けていなかった」と答えた方のみ)
あなたが健康診断を毎年受けない理由として、最も近いものを1つ選んでください。

1. 時間が取れない
2. 費用が掛かる
3. 場所が遠い
4. 面倒くさい
5. どこに受診すればよいかわからない
6. 検査を受けることに抵抗がある
7. 検査の内容に不安を感じる
8. 自分にあった検査項目がわからない
9. 自分の健康に自信があり、健康診断の必要性を感じない
10. どんな結果が出るか不安なので、受けたくない
11. 健康診断は毎年でなく、数年ごとに受ければ十分だと思う
12. 病院に定期的に通院しており、さらに健康診断を受ける必要はないと思う

[健診方法の選好]

10. ウィズコロナ時代の新しい生活様式における健診実施方法として「オンライン健診」「ハイブリッド健診」が検討されています。

オンライン健診	ハイブリッド健診
電話やビデオ通話システム等を用いて リモートのみ で行う健診方法	電話やビデオ通話システム等を用いて リモート で行う部分と 健診機関で対面 で行う部分を合わせた健診方法
例) 1. 体重、腹囲、血圧は、自分で計測し、自宅からWEBサイトに登録 2. 検査に必要な血液、尿は、採取用キットを用いて自分で採取し検査機関に郵送 3. 結果説明や保健指導が必要な場合は後日ビデオ通話システムで実施 ※胸部レントゲン撮影や心電図等の画像診断検査ならびに医師の診察はオンライン健診では実施できません	例) 1. 体重、腹囲、血圧は、自分で計測し、自宅からWEBサイトに登録 2. 血液検査、尿検査、医師の診察、画像診断検査は健診機関に赴いて受診 3. 結果説明や保健指導が必要な場合は後日ビデオ通話システムで実施

健診の種類をどれでも自由に選択できるとしたら、あなたはどの方法を希望されますか。

	もっとも希望する	どちらかといえば希望する	どちらとも言えない	どちらかといえば希望しない	まったく希望しない
1) 従来どおり健診機関で対面で行う健診	5	4	3	2	1
2) オンライン健診(全てリモートで行う健診)	5	4	3	2	1
3) ハイブリッド健診(一部はリモート、一部は健診機関で対面で行う健診)	5	4	3	2	1

11. あなたは、ご自宅に、体重計や血圧計をお持ちですか。

1. どちらも持っている
2. 体重計しか持っていない
3. 血圧計しか持っていない
4. どちらも持っていない

以上でアンケートは終わりです。おつかれさまでした。
ご協力をいただき、ありがとうございました。